

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月8日 (2016.9.8)

【公開番号】特開2015-163952(P2015-163952A)

【公開日】平成27年9月10日 (2015.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-057

【出願番号】特願2015-10153(P2015-10153)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月22日 (2016.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

偏光子及びその上に積層される少なくとも 1 つの保護フィルムを含み、長辺 7 0 0 m m 以上短辺 4 0 0 m m 以上の方形形状を有する偏光板であって、2 3℃相対湿度 5 5 % の環境下で 1 週間保管したときに、いずれかの辺において高さが 3 m m を超える波打ち欠陥を生じるか、又はいずれかの辺において 3 個以上の波打ち欠陥を生じる偏光板を用意する工程と、

保管後の偏光板水分率が、2 3℃相対湿度 5 5 % の環境下で 1 週間保管したときの偏光板水分率よりも低くなる環境下で前記偏光板を保管する工程と、を含み、

保管後の偏光板水分率 (S 1) は、2 3℃相対湿度 5 5 % の環境下で 1 週間保管したときの偏光板水分率 (S 0) の 0. 5 倍以上 0. 9 倍以下である、偏光板の保管方法。

【請求項 2】

偏光子及びその上に積層される少なくとも 1 つの保護フィルムを含み、長辺 7 0 0 m m 以上短辺 4 0 0 m m 以上の方形形状を有する偏光板であって、いずれかの辺において高さが 3 m m を超える波打ち欠陥を有するか、又はいずれかの辺において 3 個以上の波打ち欠陥を有する偏光板を用意する工程と、

保管後の偏光板水分率が保管前の偏光板水分率よりも低くなる環境下で前記偏光板を保管する工程と、を含み、

保管後の偏光板水分率 (T 1) は、保管前の偏光板水分率 (T 0) の 0. 5 倍以上 0. 9 倍以下である、偏光板が有する波打ち欠陥の解消方法。

【請求項 3】

偏光子及びその上に積層される少なくとも 1 つの保護フィルムを含み、長辺 7 0 0 m m 以上短辺 4 0 0 m m 以上の方形形状を有する偏光板であって、いずれかの辺において高さが 3 m m を超える波打ち欠陥を有するか、又はいずれかの辺において 3 個以上の波打ち欠陥を有する偏光板を用意する工程と、

保管後の偏光板水分率が保管前の偏光板水分率よりも低くなる環境下で前記偏光板を保管する工程と、を含み、

保管後の偏光板水分率 (T 1) は、保管前の偏光板水分率 (T 0) の 0. 5 倍以上 0. 9 倍以下である、偏光板が有する波打ち欠陥の低減方法。

【請求項 4】

偏光子及びその上に積層される少なくとも1つの保護フィルムを含み、長辺700mm以上短辺400mm以上の方形形状を有する偏光板であって、23℃相対湿度55%の環境下で1週間保管したときに、いずれかの辺において高さが3mmを超える波打ち欠陥を生じるか、又はいずれかの辺において3個以上の波打ち欠陥を生じる偏光板を用意する工程と、

保管後の偏光板水分率が、23℃相対湿度55%の環境下で1週間保管したときの偏光板水分率よりも低くなる環境下で前記偏光板を保管する工程と、を含み、

保管後の偏光板水分率（S1）は、23℃相対湿度55%の環境下で1週間保管したときの偏光板水分率（S0）の0.5倍以上0.9倍以下である、偏光板の製造方法。

【請求項5】

偏光子及びその上に積層される少なくとも1つの保護フィルムを含み、長辺700mm以上短辺400mm以上の方形形状を有する偏光板であって、いずれかの辺において高さが3mmを超える波打ち欠陥を有するか、又はいずれかの辺において3個以上の波打ち欠陥を有する偏光板を用意する工程と、

保管後の偏光板水分率が保管前の偏光板水分率よりも低くなる環境下で前記偏光板を保管する工程と、を含み、

保管後の偏光板水分率（T1）は、保管前の偏光板水分率（T0）の0.5倍以上0.9倍以下である、偏光板の製造方法。

【請求項6】

前記保管する工程が相対湿度30～50%の環境下で偏光板を保管する工程を含む、請求項1に記載の偏光板の保管方法。

【請求項7】

前記保管する工程が相対湿度30～50%の環境下で偏光板を保管する工程を含む、請求項2に記載の偏光板が有する波打ち欠陥の解消方法。

【請求項8】

前記保管する工程が相対湿度30～50%の環境下で偏光板を保管する工程を含む、請求項3に記載の偏光板が有する波打ち欠陥の低減方法。

【請求項9】

前記保管する工程が相対湿度30～50%の環境下で偏光板を保管する工程を含む、請求項4又は5に記載の偏光板の製造方法。

【請求項10】

前記保管する工程において偏光板は、密封容器内で保管される、請求項1に記載の偏光板の保管方法。

【請求項11】

前記保管する工程において偏光板は、密封容器内で保管される、請求項2に記載の偏光板が有する波打ち欠陥の解消方法。

【請求項12】

前記保管する工程において偏光板は、密封容器内で保管される、請求項3に記載の偏光板が有する波打ち欠陥の低減方法。

【請求項13】

前記保管する工程において偏光板は、密封容器内で保管される、請求項4又は5に記載の偏光板の製造方法。

【請求項14】

前記保管する工程において偏光板は、除湿剤の入った密封容器内で保管される、請求項1に記載の偏光板の保管方法。

【請求項15】

前記保管する工程において偏光板は、除湿剤の入った密封容器内で保管される、請求項2に記載の偏光板が有する波打ち欠陥の解消方法。

【請求項16】

前記保管する工程において偏光板は、除湿剤の入った密封容器内で保管される、請求項

3 に記載の偏光板が有する波打ち欠陥の低減方法。

【請求項 17】

前記保管する工程において偏光板は、除湿剤の入った密封容器内で保管される、請求項 4 又は 5 に記載の偏光板の製造方法。

【請求項 18】

前記保護フィルムのうち少なくとも 1 つは、ポリオレフィン系樹脂フィルム及び（メタ）アクリル系樹脂フィルムからなる群より選ばれる熱可塑性樹脂フィルムである、請求項 1 に記載の偏光板の保管方法。

【請求項 19】

前記保護フィルムのうち少なくとも 1 つは、ポリオレフィン系樹脂フィルム及び（メタ）アクリル系樹脂フィルムからなる群より選ばれる熱可塑性樹脂フィルムである、請求項 2 に記載の偏光板が有する波打ち欠陥の解消方法。

【請求項 20】

前記保護フィルムのうち少なくとも 1 つは、ポリオレフィン系樹脂フィルム及び（メタ）アクリル系樹脂フィルムからなる群より選ばれる熱可塑性樹脂フィルムである、請求項 3 に記載の偏光板が有する波打ち欠陥の低減方法。

【請求項 21】

前記保護フィルムのうち少なくとも 1 つは、ポリオレフィン系樹脂フィルム及び（メタ）アクリル系樹脂フィルムからなる群より選ばれる熱可塑性樹脂フィルムである、請求項 4 又は 5 に記載の偏光板の製造方法。